

## 2015年4月から能力評価が変更

- ✓ 従来の3ベースから4種ベースへ
- ✓ ベースの変更
- ✓ 構成要素
- ✓ Inet経済効果指数
- ✓ ロボット搾乳における適応特性



# 2015年4月から能力評価が変更

・2015年4月(4種のベース)

➤B&W 黒白 乳牛



**B&W**

最低5/8の血統濃度をもつ

➤R&W 赤白 乳牛



**R&W**

赤色乳牛

ブラウンスイス

ジャージー

モンベリアード

それぞれ最低5/8の血統濃度をもつ

➤乳肉兼用



**MRI**

Fleckvieh(フレックビー)

➤ベルギー ブルー(新)



**Belgium Blue(ベルギーブルー)**

最低5/8の血統濃度をもつ

## 2015年4月に変更になるベース

形質	B&W	R&W	兼用種
NVI	66	74	62
生産寿命	148	218	194
乳量Kg	260	236	210
脂肪KG	8	5	9
蛋白KG	10	11	8
娘牛の繁殖性	0	-1	-1
フレーム	2	3	1
体型	2	2	-4
乳房	3	3	2
肢蹄	2	4	4
乳房の健康	1	1	1
分娩難易	1	4	-1

## 2015年4月に変更になるベース

形質	B&W	R&W	兼用種
高さ	2	2	-1
胸の幅	1	-1	1
体の深さ	1	0	-2
鋭角性	1	1	2
BCS	1	0	-1
尻の角度	0	1	1
座骨の幅	2	1	1
後肢後望	0	2	0
後肢側望	-1	-2	1
蹄の角度	1	2	0
歩行	1	2	1

## 2015年4月に変更になるベース

形質	B&W	R&W	兼用種
前乳房の付着	2	2	1
前乳房の配置	2	3	2
乳頭の長さ	-1	-1	-1
乳房の深さ	2	3	1
後乳房の高さ	2	3	2
後乳頭の配置	1	1	2
中央靱帯の強さ	1	1	1
体貌と骨格	2	3	1
体型	2	2	-4
乳器	3	3	2
肢蹄	2	4	4
決定得点	4	4	4



# 体型／タイプの構成要素

大きな疑問：

各特性から判断すると、新しい基準での望ましいタイプの牛とは？

答：

フレームにかんしては、斜尻であること。高さにはこだわらない。高さは今後重要視されない。

新しいフレーム評価には以下で構成される。

胸の幅(20%) 体の深さ(20%) 尻の角度(30%) 尻の幅(30%)	}	フレーム	→ 高さ	105
			→ 胸の幅	104
			→ 体の深さ	102
			→ 鋭角性	103
			→ BCS	101
			→ 尻の角度	99
			→ 座骨の幅	106
			→ 後肢後望	106
			→ 後肢側望	98
			→ 蹄の角度	103
			→ 歩行	106
			→ 前乳房の付着	107
			→ 前乳房の配置	108
			→ 乳頭の長さ	97
			→ 乳房の深さ	107
			→ 後乳房の高さ	110
			→ 後乳頭の配置	109
			→ 乳房の懸垂	109

# 2015年4月から能力評価が変更

タイプが乳用強健性にとってかわる。

タイプに含まれるのは:

BCS(30%)	タイプ	高さ	105
鋭角性(30%)		胸の幅	104
胸の幅(15%)		体の深さ	102
体の深さ(15%)		鋭角性	103
尻の幅(10%)		BCS	101
		尻の角度	99
		尻の幅	106
		後肢後望	106
		後肢側望	98
		蹄の角度	103
		歩行	106
		前乳房の付着	107
		前乳房の配置	108
		乳頭の長さ	97
		乳房の深さ	107
		後乳房の高さ	110
		後乳頭の配置	109
		中央靱帯の強さ	109

## 乳房の構成要因

新しい評価計算では以下の点に特に焦点をあて、全ての乳房特性に基づき算出する。

- 前乳房の付着
- 後乳房の高さ
- 乳房底面の高さ
- 後乳頭の配置



## 肢蹄の評価構成要因

肢蹄の評価では歩様が最も重要な特性となる。



## 構成要素全般

変更後、実際にはどうなるのか？

酪農家がこれらの新しい指数を使うと、牛の高さが必要以上に高くなり、  
後肢側望は直飛傾向の牛が少なくなる。  
後乳頭の配置は内付き傾向の牛が少なくなる。



# 2015年4月から能力評価が変更

種雄牛水準の最も大きな変化はフレーム

新旧の能力評価の相関関係は

フレーム: 67%

タイプ: 85%

乳房: 90%

肢蹄: 89%

## 2015年4月から能力評価が変更

Inet経済効果指数にラクトース(乳糖)が加わる。

従来のInetは

$-0.03 \text{ kg 乳量} + 2.2 \text{ kg 脂肪} + 5 \text{ kg 蛋白}$

新しいInet計算式は

$0.3 \text{ kg ラクトース} + 2.1 \text{ kg 脂肪} + 4.1 \text{ kg 蛋白}$

乳量の多い種雄牛はランキングが少し上がり、高成分の種雄牛のランクは少し下がる。

新旧のInetの相関関係は、高く98%。それゆえ4月以降も高成分の種雄牛はInetのランクで上位を占めることになるであろう。

## 2015年4月から能力評価が変更

ロボット搾乳のための指標を新たに導入。

- ロボットの効率性
- 搾乳間隔
- 初産牛の馴馳

